

ORBCOMM、既存の債務ファシリティを借り換え、市場リーダーシップ加速のための資本を確保

米国バージニア州スターリング、2026年4月29日 - 産業向けIoT(インダストリアルIoT)のグローバルリーダーであるORBCOMM Inc.は本日、カーライル(Carlyle)、ベイン・クレジット(Bain Credit)のプライベート・クレジット部門、およびモルガン・スタンレー・プライベート・クレジットの支援を受け、総額4億6,000万米ドルのリファイナンス取引を完了したことを発表しました。

April 28, 2026

本ファイナンス・パッケージは、ORBCOMMの既存の債務ファシリティを借り換えるものであり、デイレイド・ドロウ型タームローンおよびリボルビング・クレジット・ファシリティを通じた、コミットメント済み未引出し資本枠を含んでいます。これにより、ORBCOMMは確約された資本と高い柔軟性を確保します。ORBCOMMは今後も、長期的な成長施策への投資、大規模な顧客導入の支援、プラットフォームの拡張に注力していきます。

本取引は、主要な機関投資家からの強い支持を反映するとともに、ORBCOMMの市場でのポジション、戦略的方向性、そして長期的な成長機会に対する信頼の高さを示しています。

ORBCOMMは、2021年にGI Partnersにより買収されて以降、戦略的フォーカスを明確化し、オペレーションモデルを強化するとともに、アセット・インテリジェンスおよびコネクティビティ分野において、よりスケールラブルで差別化されたプラットフォームを構築してきました。現在、1,000社以上のエンタープライズ顧客にサービスを提供し、全世界で300万以上の接続資産をサポートしています。

ORBCOMMは、ORBCOMM®の関連会社であるVIACHAIN™を通じてサプライチェーン向けアセット・インテリジェンスを提供し、同じくORBCOMM®の関連会社であるSKYWAVE™を通じて、グローバルなハイブリッド型(衛星+セルラー)IoT接続を提供しています。これらのソリューションにより、顧客は輸送、海運、物流、産業市場における分散した物理資産を監視・管理・最適化することが可能になります。

ORBCOMMの最高経営責任者(CEO)であるサミール・アグラワル(Sameer Agrawal)は次のように述べています。「今回のリファイナンスは、私たちが築いてきた勢いと、目指す方向性が明確であることを示しています。私たちは、自社の強みを発揮できる領域に注力し、お客様に持続的な価値を提供するため、慎重かつ意図的に事業強化を進めてきました。」

さらにアグラワルは次のように続けています。「今回追加されたコミットメント済みの未引出しファシリティにより、プラットフォームの拡張、長期的な顧客導入の支援、そしてリアルタイム・インテリジェンスと業務成果の提供における当社の役割を一層深めるための投資を継続できる柔軟性が高まります。リアルタイムデータとAIが物理的オペレーションの中核となる中で、ORBCOMMは提供価値をさらに拡大できる有利な立場にあります。」

ORBCOMM について

ORBCOMM は、産業向け IoT のグローバルリーダーとして、世界で最も重要なオペレーションに可視性、インテリジェンス、効率性を提供しています。30 年以上にわたるイノベーションの歴史と、300 万以上の接続デバイスを活用し、ORBCOMM はデータを実用的なインサイトへと変換し、効率性、安全性、レジリエンス、サステナビリティの向上を実現します。同社は、海運、輸送、物流、産業市場にわたる顧客にサービスを提供し、グローバルな IoT ソリューション・プロバイダーのエコシステムと連携しています。

オーブコムメディア連絡先

オーブコムジャパン問い合わせ窓口

03-3526-6320

mail@orbcomm.co.jp

<https://www.orbcomm.com/>